

# 地域と学校・保育所の更なる連携を推進

～「たまがわ地域協育ネット」の取組～

【萩市 田万川中学校区】

## 地域の概要

田万川中学校区は、山口県の北端に位置し、東は島根県益田市および津和野町、南と西は萩市須佐に隣接しており、美しい自然環境に恵まれた地域です。

昨年の豪雨災害で、須佐・田万川地域は甚大な被害を受けましたが、復興・復旧が進みつつあります。

校区内には、保育所2園、小学校2校、中学校1校があり、異校種間交流や小学校間交流も頻繁に行われてきました。また、地域の方々をはじめとして総合事務所、地域事務所、公民館、交番などの行政も教育に対して非常に協力的な地域です。

人口	2,905人
世帯数	1,318世帯
対象校・園 及び園児 児童生徒数	田万川中学校 52人
	多磨小学校 73人
	小川小学校 46人
	田万川保育園 37人
同 小川分園	22人

## 組織の内容

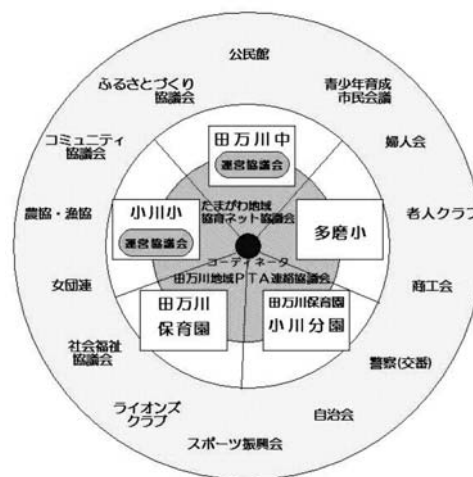
田万川地域は、教育に対し熱心に協力して下さる方が多く、子どもたちや親たちを守り育てる様々な関連組織があります。「たまがわ地域協育ネット」は、こうした既存の関連組織の活動を生かしながら、保育所と小・中学校のPTAで組織している「田万川地域PTA連絡協議会」を母体として、地域の主な協議会や団体、行政等の関係者も加わった組織で取り組んでいます。そして、「5育」の取組を基本とし、地域ぐるみで子どもを育てる活動を拡大させています。

田万川中学校は、平成17年1月に県内初のコミュニティ・スクールとなり、地域に開かれた信頼される学校づくりの推進をめざし、学校・家庭・地域の連携と協働による取組を展開して10年が経過しました。

また、小川小学校は今年度コミュニティ・スクールとなり、ふるさとでの学びを生かした教育を推進しています。

さらに、多磨小学校は、来年度からのコミュニティ・スクールの開始が予定されています。

【たまがわ地域協育ネット】



学校・園関係者	8名
PTA関係者	17名
行政関係者	4名
地域・団体関係者	9名

◇コーディネーター数：1名  
(コーディネーターは公民館長)

## 特色・重点的な取組

### 親のつとめ・大人のつとめ「5育」

「わたしたち」の「ふるさと」の未来になう子どもたちが大きな夢を抱いて、たくましく羽ばたくように、地域や自然とのふれあい・生きる技・知恵を授け、健やかに育てていきましょう。

#### ふれあい、ともにすごし、「生きる力」を育みましょう。

- 「目」目(以上)は、家庭で「食卓」をしよう。
- 「手」手(以上)は、決まりを守れるように育てよう。
- 「心」心(以上)は、思いやりを育もう。
- 「生活」生活(以上)は、生活する上での知恵を授けよう。

#### マナー、ルールを守る子どもに育てましょう。

- 「善悪」善悪(以上)は、善悪を判断できるように育てよう。
- 「ルール」ルール(以上)は、ルールを守れるように育てよう。
- 「学習」学習(以上)は、学習の習慣を育てよう。
- 「生活」生活(以上)は、生活する上での知恵を授けよう。

#### がんばる心を育みましょう。

- 「挑戦」挑戦(以上)は、挑戦する心を育てよう。
- 「困難」困難(以上)は、困難に挑戦する心を育てよう。

#### 思いやりの心を育みましょう。

- 「思いやり」思いやり(以上)は、思いやりを育もう。
- 「生活」生活(以上)は、生活する上での知恵を授けよう。
- 「郷土」郷土(以上)は、郷土を知り、地域を愛する心を育てよう。

#### 命を大切にする心を育みましょう

- 「命」命(以上)は、命を大切にする心を育てよう。
- 「自分」自分(以上)は、自分の身は自分で守る心構え、態度を育てよう。

親・大人が変われば、子どもも変わる。子どもが変われば、学校・地域も変わる。

今年度は、重点取組事項として「校外でのあいさつの充実」を掲げ、「心豊かなたまがわっ子」の育成に取り組んでいます。

家庭教育の向上や将来を見据えた人材の育成も視点におき、地域ぐるみで子どもを育てていく気運を更に盛り上げ、参加団体ごとにできるところから、より具体的な活動に取り組むことを確認しました。

- ① 保育所・小学校・中学校の保護者が交代で、地域全体でのあいさつの励行を中心に、「親のつとめ・大人のつとめ『5育』」を呼びかける。
- ② 長期休業中の定時に、児童生徒の録音・放送により、帰宅時刻のお知らせと家庭でのふれあい等を呼びかける「教育サイレン」を行う。

## 主な活動の紹介

### ○地域の人材や素材を教育現場に生かす取組

- ◇地域から高い技能や専門性をもつゲストティーチャーを招いて、幅広い視点から学習を深める工夫をしています。今年度、中学校では、地域の方から銭太鼓や手話について指導していただき、文化祭で共演する取組を行いました。
- ◇小学校の「探訪遠足」では、地域の文化や歴史を、地域の方に教えていただき、親子でふれあいながら学ぶことができました。
- ◇学校の環境美化に、地域からたくさんのボランティアが協力しています。
- ◇小学校では、地域の方と一緒にさつまいもや落花生、稲を育てる実習を行い、収穫、調理、販売の体験も行いました。

### ○学校教育活動と地域行事等との連携・融合の推進

- ◇「文化芸術による子どもの育成事業（狂言）」を児童生徒と一緒に鑑賞、演技し、本物の芸術を堪能しました。
- ◇小川地区コミュニティ協議会主催の「トリムマラソン大会」に小川小学校、田万川中学校は学校行事として全員が参加しました。多磨小学校の児童も多数参加しました。
- ◇中学校では、九つの生涯学習団体が中学校施設を利用して活動しています。地域交流ゾーンや図書館では地域の方との自然なふれあいが日常的に生まれ、地域の温かさが子どもたちの優しい心を育てています。
- ◇山口県立博物館から講師を招いて、園児児童生徒・保護者・地域の方が参加して、「たまがわっ子天体観測会」を開催しました。当日は、天体の話題で地域の方々と一緒に美しい夜空を満喫しました。



地域スポーツ集会への参加

◇ふるさとづくり協議会が主催する2年に一度の行事「田万川スポーツの集い」に保育所・小学校・中学校の子どもと一緒に参加し、地域に笑顔や元気を届けました。会場では地域の方と育てたお米を児童が販売しました。



文化祭で地域の方と共演



ゲストティーチャー



探訪遠足



狂言の学習（小中合同）



たまがわっ子天体観測会

## 成果と課題

地域の児童生徒の課題を今一度確認し、そこから「子どもも大人も明るくあいさつをし合う」ことを重点テーマとして、防災無線を利用した「保護者によるあいさつ運動の呼びかけ」や「児童が行う長期休業中の教育サイレンの実施」等、具体的な活動を行いました。また会議において、参加団体から『『あいさつの日』を設定し、地域全体であいさつの呼びかけを行おう』という発言があり、地域での気運の高まりを感じることができました。また、天体観測会の実施など、保・小・中の連携による合同行事も増えつつあります。

子どもたちを地域ぐるみで見守り、支援し、育てていくという「地域協育ネット」の主旨が浸透しつつありますが、地域の多様な教育資源を生かしていく新たな取組を更に工夫していく必要があります。

## 今後の取組

### ○本年度の活動の深化・充実

本年度の主な活動について、活動を継続し、さらに協議・改善を進めていきます。そして、参加団体がそれぞれの立場で、取り組むことを明確にしていきます。

### ○学校教育と社会教育の連携・融合の推進

学校と公民館等の連携・融合を図り、地域の多様な教育資源を生かしながら、子どもと大人のふれあいや双方にメリットのある幅広い学習活動を一層推進します。

### ○保育所、小・中学校の連携を強化し、家庭教育の一層の充実に向けた取組の展開

あいさつ、生活リズムや生活習慣、手伝い、家族のふれあい等について、保育所、小・中学校の連携した取組を一層充実させます。